

鉄骨構造工作標準図

§ 1 一般事項

・使用材料は 構造図による。

・鉄骨加工業者は 社団法人全国鉄骨工業協会（J S F A）加盟の大臣認定取得の工場とする。

Table with 5 columns: 延床面積, グレード, 種類, 板厚, ベースプレート. Rows include Mグレード, Hグレード, 4.9ONまで, 5.2ONまで, etc.

・設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
・本標準図における単位はすべてmmとする。
・精度に関しては「鉄骨工事精度標準（日本建築学会編）」による。
・防錆塗装は「J I S K 5 5 2 1 ~ K 5 6 3 3」による。

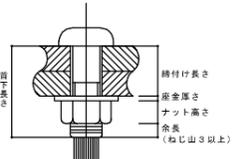
§ 2 共通事項

- ・ A B アンカーボルト
・ B E ベースプレート
・ D F B ダイアフラム
・ F E フランジプレート
・ H T B 高力ボルト
・ S E スプライスプレート
・ W E ウェブプレート
・ B H 相対してH形鋼
・ C H P チェッカープレート
・ F B フラットバー
・ G E ガセットプレート
・ R E リッププレート
・ T B ターンバックル
・ W 1 - 5 溶接記号（§ 4 参照）

§ 3 ボルト接合

ボルトの所要長さ

Table with 2 columns: ねじの呼び, 締付け長さ. Rows include F 1 0 T, S 1 0 T, M 1 6, M 2 0, M 2 2, M 2 4.



- (a) 特記以外は全て F 1 0 T 又は S 1 0 T（特殊高力ボルト、右図）とする。
(b) 本標準図に使用するボルトと、既締めボルトの併用はしてはならない。
(c) ボルトの接合面の処理は締付け標準図の母材においては平均グラインダー掛け、スプライスプレートにおいてはショット掛けを行い、黒皮を除去して一様に赤さびを生じさせる。又、締付けは一次締付け後マーキングを入れて本締めをする。

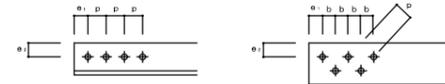


Table with 4 columns: 呼び径, 標準, 最小, 最大, 呼び径. Rows include M 1 6, M 2 0, M 2 2, M 2 4.

・（ ）内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。
手作業によるガス切断を行う場合はヘリあき e は上表の数値+5とする。

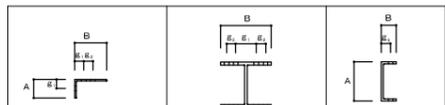


Table with 4 columns: A or B, a', e', 最大軸径, B, e', e'', 最大軸径. Rows include 50, 60, 65, 70, 75, 80, 90, 100, 105, 110, 125, 130, 150, 175, 200.

・ B = 300 は平角釘とする。
・ a' の値の e' および最大軸径の値は強度上支障がないとき 最小縦筋距離の規定にかかわらず用いることができる。

4-1 隅肉溶接

§ 4 溶接接合

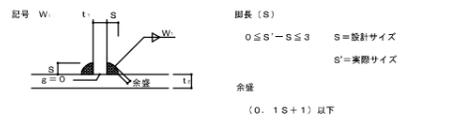
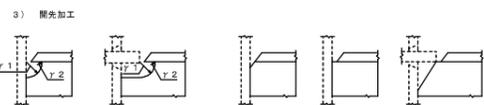


Table with 2 columns: t : t1 < t2 の小さい方, S >= 0.7 t. Rows include 6以下, 9, 12, 14, 16, 19, 7, 9, 10, 12, 14.



両面に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ (1) は 3.5 以上かつ端部の板厚の 2 倍以上とする。
※フランジ端部の溶接は、バックステップは禁止し、フランジ外側から溶接を始めること。
フランジ端部より外側に 15mm 程度以上溶接でき且つ、パスの数及び形状が確認できるものを標準仕様とする。
参考：E6 アークアップ (相成建設材) 等



・スカーアップを設ける場合、スカーアップの内側の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。
γ1 は 3.5mm 程度、γ2 は 1.0mm 程度とする。
なお接合面は滑らかに仕上げること。
※突き合わせ溶接部以外のスカーアップは γ = 2.5 程度とする。

Table with 4 columns: 記号, 形状, 適用板厚, 寸法. Rows include MC-BL-B1, MC-BL-2, MC-BK-2, MC-BL-B1.

MC ... は平溶接 GC ... は半自動溶接の記号を示す。

4-3 溶接部の検査

- 1 外観及び表面欠陥の検査は原則として目視により全ての溶接線に対して行うこと。
2 柱、梁のフランジ突き合わせ溶接部の内部欠陥の検査は原則として超音波探傷試験による。
3 検査標準及び合格判定は日本建築学会編「鋼構造建築接合部の超音波探傷検査基準」による。
4 工場溶接に対し第三者機関による検査箇所数は下表による（但し社内検査は 100% 行うこと）。

Table with 3 columns: 検査箇所数, 1, 2, 3. Rows include 検査箇所数, 第1部, 第2部, 第3部.

○ ← ○ 不合格率 5% 未満の場合
○ → ○ 不合格率 5% 以上の場合

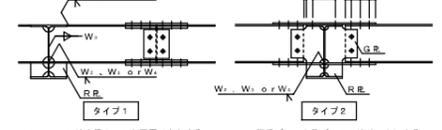
5 現場溶接の場合は第三者機関による検査を 100% 行う。
6 不合格と判定された溶接部は全て修正すること。

5-1 継手部

§ 5 継手

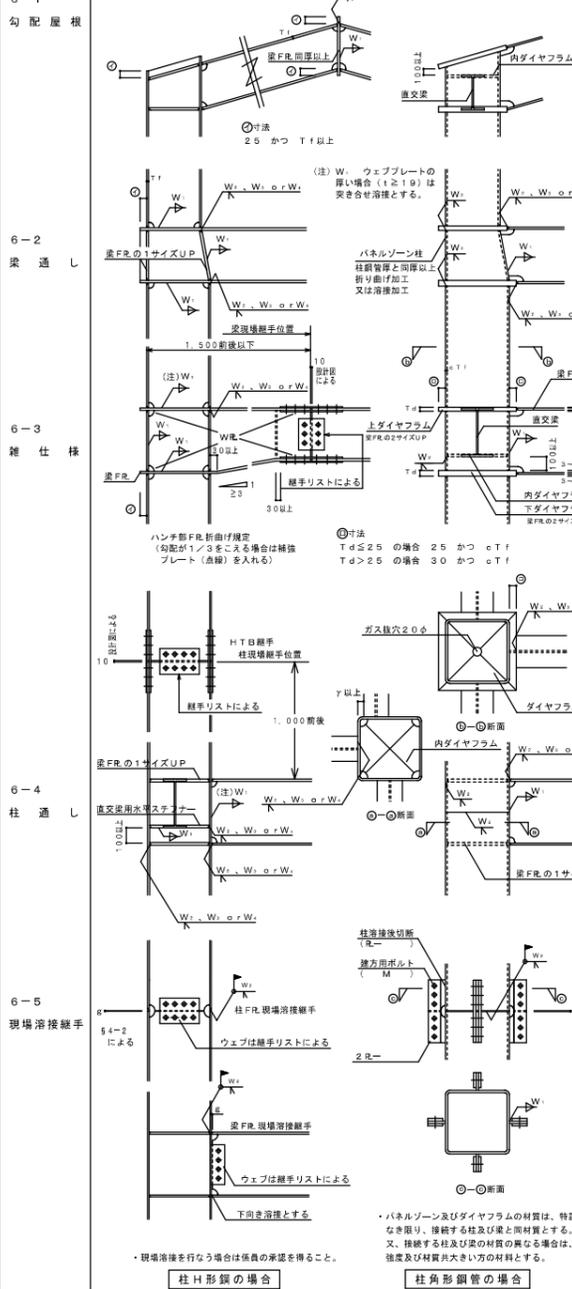
ファイラプレート
F.R. WR 面で段差が 1 をこえる場合は、ファイラプレートを入れる。

・ピン接合は小梁柱ロストによる。



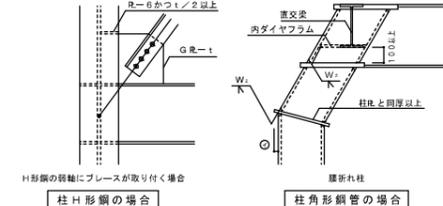
§ 6 柱梁接合部および継手

(溶接記号は 4-1, 4-2 に対応)

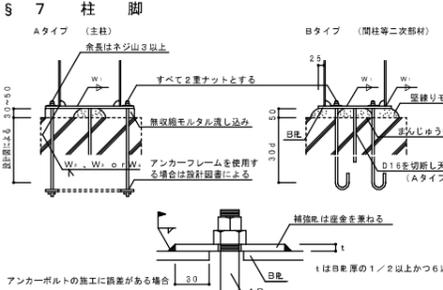


・現場溶接を行う場合は係員の承認を得ること。
柱 H 形鋼の場合
柱角形鋼管の場合

6-6 その他



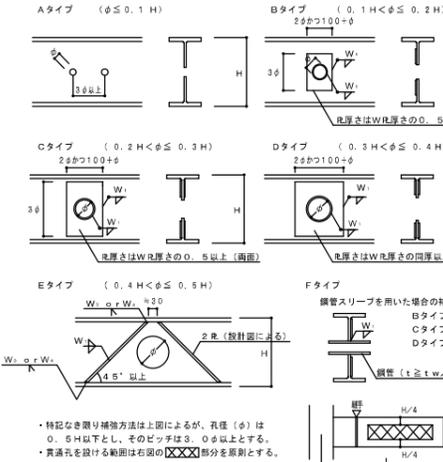
7-1 一般柱脚



7-2 認定柱脚

・認定柱脚を使用する場合はメーカー仕様による。

§ 8 その他



8-1 貫通補強



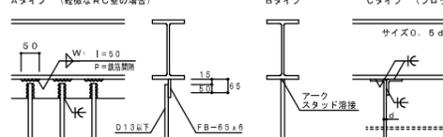
8-2 デッキプレート



8-3 スタッドジベル



8-4 壁筋の溶接



工事名 岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事
No. S-05

Table with 4 columns: 図面名, 図面番号, 建築, 設備. Rows include 岡山市市場事業部, 令和7年4月, etc.

構造設計担当者
構造一級建築士 4007号
一級建築士 24574号 木村誠司

株式会社 U. D. D 設計
株式会社 U. D. D 設計
構造一級建築士 7104号
一級建築士事務所 岡野 12147号
岡野 37849号
中田 智之

# ジャストベース（JEⅡ型）柱脚工法設計施工標準図

（財）日本建築センターBCJ評定-STO153-08（令和4年10月21日付）

（角形鋼管仕様）

●柱材：角形鋼管（F値 235N/mm<sup>2</sup>）- STKR400, BCP235, SHC400B・C  
 （F値 295N/mm<sup>2</sup>）- BCR295, JBCR295, TSC295  
 （F値 325N/mm<sup>2</sup>）- STKR490, BCP325, BCP325T, SHC490B・C  
 ●基礎コンクリート：普通コンクリート（21・24N/mm<sup>2</sup>）以上 30N/mm<sup>2</sup>以下  
 ●鉄筋：異形鉄筋 SD295(D13, D16) SD345(D19~D25)

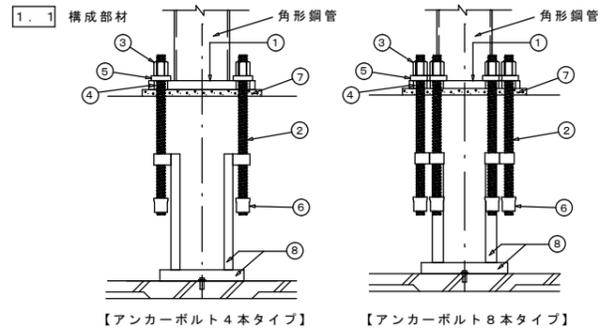
●柱脚の選定：別冊「ジャストベースカタログ」により設計者が選定する。  
 ●ベースプレートの溶接：別冊「工場製作管理要領書」により鉄骨製作工場にて溶接を行う。  
 ●現場施工：別冊「ジャストベース施工ガイド」によりジャストベース認定施工業者が行う。

資料番号：JB（JEⅡ）-04-01

コトブキ技研工業株式会社

広島 TEL 0823-70-0721 FAX 0823-70-0722

## 1. 柱脚構成部材及び基礎廻り標準図



① ベースプレート	⑤ 産金
② アンカーボルト	⑥ 定着ナット及び固定用クサビ
③ ロックナット及び固定用クサビ	⑦ 無収縮モルタル
④ ジャストリング	⑧ フレーム部材（テンプレート含む）

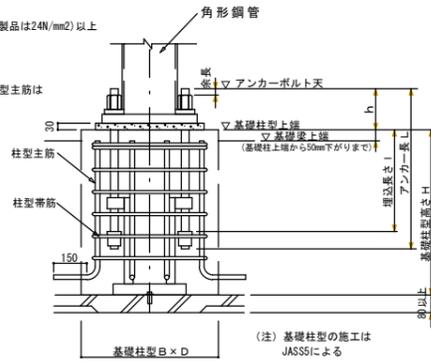
（注）12本アンカーボルトタイプの図は省略

## 1.2 基礎廻りの標準図

※設計基準強度（F<sub>c</sub>）は21N/mm<sup>2</sup>（一部製品は24N/mm<sup>2</sup>）以上 30N/mm<sup>2</sup>以下の範囲です。

※ジャストベース（JEⅡ型）工法の柱型主筋は頂部フックが不要です。

※トップフープはダブルフープ。



## 2. アンカーボルト・ロックナット・定着ナット・産金・ジャストリング

### 2.1 アンカーボルト（材質：JB-SD390・JB-SD490）

呼径	D	L	d	e
D29(SD490)	31.7	660	M8	20
D35(SD390)	38.1	720	M8	20
D35(SD490)	38.1	725	M8	20
D38(SD490)	41.9	785	M8	20
D41(SD490)	45.4	880	M8	20
D51(SD390)	57.5	990	M8	20

### 2.2 ロックナット（材質：S45C 熱処理H）

呼径	B	C	H
D29	46	53.1	56
D35	55	63.5	64
D38	60	69.3	64
D41	65	75.0	64
D51	80	92.4	76

### 2.3 定着ナット（材質：S45C 熱処理H）

呼径	φA1	φA2	H	φd	h	e
D29	54	47	56	28.3	2.95	10
D35	64	58	64	34.3	3.30	10
D38	69	63	64	37.5	3.55	10
D41	74	69	64	40.3	3.65	10
D51	95	90	76	50.0	4.50	10

### 2.4 産金（材質：SS400）

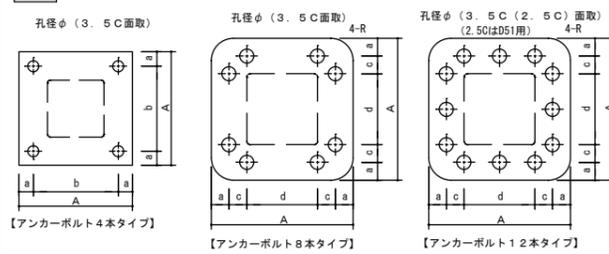
呼径	φD	φd	t
D29	74	34	19
D35	88	41	22
D38	94	45	25
D41	100	48	25
D51	119	59	28

### 2.5 ジャストリング（材質：S25C又はFCD450-10）

呼径	外リング	内リング	H	θ		
φD2	φD1	φD2	φD1			
D29	51.0	42.8	42.3	33.5	26	110
D35	59.0	49.8	49.2	40.0	32.40	110
D38	65.0	54.9	54.2	44.0	48	110
D41	69.0	58.8	58.0	47.5	56	110
D51	84.5	72.4	71.6	59.5	64.5	90

## 3. ベースプレート

### 3.1 ベースプレート（材質：SN490B又はTMCP325B）



ジャストベース製品記号	タイプ	材質	t	A	a	b	c	d	φ	コーナーR
J150-12N	4本	SN490B	28	300	45	210	—	—	52	—
J175-12N	4本	SN490B	32	325	45	235	—	—	52	—
J200-09N	4本	SN490B	32	350	45	260	—	—	52	—
J200-12N	4本	SN490B	32	380	55	270	—	—	60	—
J250-09N	4本	SN490B	36	430	55	320	—	—	60	—
J250-12N	4本	SN490B	40	430	55	320	—	—	60	—
J250-16N	8本	SN490B	40	480	50	—	75	230	60	80
J300-09N	4本	SN490B	40	480	55	370	—	—	60	—
J300-12N	8本	SN490B	36	510	45	—	65	290	52	80
J300-16N	8本	SN490B	40	540	60	—	75	270	60	80
J300-19N	8本	TMCP325B	45	540	60	—	75	270	60	80
J350-12N	8本	SN490B	40	580	55	—	75	320	60	80
J350-16N	8本	TMCP325B	50	600	55	—	75	340	60	80
J350-19N	8本	TMCP325B	50	640	75	—	85	320	66	80
J350-22N	8本	TMCP325B	55	640	70	—	95	310	70	80
J400-12N	8本	SN490B	40	640	60	—	75	370	60	80
J400-16N	8本	TMCP325B	45	670	70	—	85	360	66	80
J400-19N	8本	TMCP325B	50	710	75	—	95	370	70	80
J400-22N	12本	TMCP325B	60	710	70	—	85	400	66	80
J400-25N	12本	TMCP325B	60	710	70	—	85	400	66	80
J450-16N	12本	TMCP325B	50	710	65	—	85	410	66	80
J450-19N	12本	TMCP325B	55	740	75	—	85	420	66	80
J450-22N	12本	TMCP325B	60	760	80	—	95	410	70	80
J450-25N	12本	TMCP325B	60	760	80	—	95	410	70	80
J500-19N	12本	TMCP325B	55	800	80	—	95	450	70	80
J500-22N	12本	TMCP325B	60	840	85	—	95	480	70	80
J500-25N	12本	TMCP325B	65	840	85	—	105	460	85	80
J550-19N	12本	TMCP325B	60	850	75	—	95	510	70	80
J550-22N	12本	TMCP325B	65	920	75	—	95	580	70	80
J550-25N	12本	TMCP325B	65	920	90	—	105	530	85	80

## 4. 溶接施工

### 4.1 溶接

●角型鋼管のベースプレートへの溶接は突合せ溶接とする。  
 開先条件はJASS6に準じ下表による。

種類	図	柱部材の適用板厚 t (mm)	ルート間隔 G (mm)		ルート面 R (mm)		開先角度 α1 (度)	
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差
被覆アーク溶接		6以上	7	-2	2	-2	45	-2.5
			9	+∞		+1	35	+∞
ガスアーク溶接		6以上	6	-2	2	-2	45	-2.5
			7	+∞		+1	35	+∞

※溶接姿勢は下向きを原則とする

### 4.2 溶接部の検査

●超音波探傷検査とし、合格の判定は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・解説」による。

## 5. 現場施工

特記以外は元請会社の施工とする。

### 5.1 捨てコンクリート地盤（元請施工）

●基礎柱型下部の捨てコンクリートは厚さ80mm以上とし、上面をコテで平滑に仕上げる。上面レベルのチェックを行う。

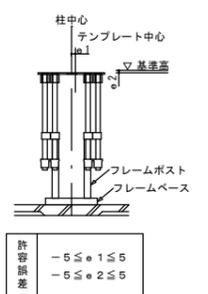
### 5.2 フレーム及びアンカーボルトの設置（※1）

①フレームベース設置：柱中心地盤に対し、平面位置を調整する。レベル調整用ボルトでフレームベースを水平にする。

②アンカーボルト設置：フレームポスト上部の部材にアンカーボルトにて固定し位置を確認する。

③テンプレート設置：テンプレートをアンカーボルトに上部からボルトにて固定し、テンプレート中心線を、柱中心地盤に調整後、フレームベースをホールインアンカーで固定する。

④定着ナット固定措置：定着ナットをアンカーボルト下部位置に取り付け、アンカーボルトと定着ナットの隙間に鋼製クサビを打ち込む。



### 5.3 基礎柱型筋及びコンクリート打設（元請施工）

### 5.4 鉄骨柱の建入れ（元請施工）

### 5.5 ジャストリング設置及びロックナット本締め（元請施工）

●ジャストリングを全数設置し、レンチ等でロックナットを本締めする。  
 トルク値は300N・mとする。（マーキング等による確認推奨）

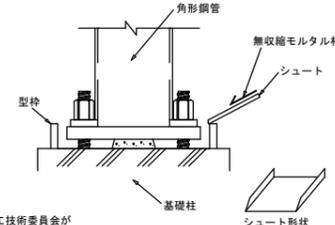
### 5.6 固定用クサビの設置（元請施工）

●鋼製クサビをロックナットとアンカーボルトの隙間に全数セットし、打ち込む。

### 5.7 無収縮モルタル注入

①無収縮モルタル用型枠施工（元請施工）

②基礎コンクリート清掃・水洗いの後、無収縮モルタルをシュートにより方向から注入する。（※1）



※1：現場施工及び施工管理は、ジャストベース施工技術委員会が認定した有資格者が行う。

ジャストベース製品記号	サイズ	適用角形鋼管（該当するF値・O印）			柱脚構成部材			R C基礎柱型（下記の寸法・配筋とする）						柱脚回転剛性 kN-m/rad	備考	
		F=235N/mm <sup>2</sup>	F=295N/mm <sup>2</sup>	F=325N/mm <sup>2</sup>	アンカーボルト	ベースプレート	産金	寸法 (mm)			配筋					
J150-12N	150×150	6・9・12	6・9・12	6・9	本数・呼径×L	材質	h	t×A×A	B×D (標準寸法)	B×D (最大寸法)	H	主筋	帯筋	設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	12,000	
J175-12N	175×175	6・9・12	6・9・12	6・9	4-029×660	SD490	165	28×300×300	19×74	500×500	620×620	550	12-D16	D13 #150	21以上 30以下	17,000
J200-09N	200×200	6・8・9	6・8・9	6・8	4-029×660	SD490	165	32×325×325	19×74	550×550	670×670	600	12-D16	D13 #150	21以上 30以下	21,000
J200-12N	200×200	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	4-035×720	SD390	180	32×380×380	22×88	560×560	680×680	600	12-D19	D13 #150	21以上 30以下	30,000
J250-09N	250×250	6・8・9	6・8・9	6・8	4-035×720	SD390	180	36×430×430	22×88	620×620	740×740	600	12-D19	D13 #150	21以上 30以下	47,000
J250-12N	250×250	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	4-035×725	SD490	185	40×430×430	22×88	620×620	740×740	600	12-D19	D13 #150	21以上 30以下	47,000
J250-16N	250×250	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16	6・8・9・12	8-035×720	SD390	180	40×480×480	22×88	650×650	850×850	600	16-D22	D13 #150	21以上 30以下	61,000
J300-09N	300×300	6・8・9・(12)	6・8・9	6・(9)	4-035×725	SD490	185	40×480×480	22×88	680×680	800×800	600	12-D19	D13 #150	21以上 30以下	66,000
J300-12N	300×300	6・8・9・12・(16)	6・8・9・12	6・8・9・(12)	8-029×660	SD490	165	36×510×510	19×74	700×700	900×900	600	12-D22	D13 #150又はD16 #150	21以上 30以下	65,000
J300-16N	300×300	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16	6・8・9・12・(16)	8-035×720	SD390	180	40×540×540	22×88	740×740	940×940	600	12-D22	D13 #150又はD16 #150	21以上 30以下	89,000
J300-19N	300×300	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16・19	6・8・9・12・16・(19)	8-035×725	SD490	185	45×540×540	22×88	740×740	940×940	600	16-D25	D13 #150又はD16 #150	21以上 30以下	90,000
J350-12N	350×350	9・12・(16)	9・12	9・(12)	8-035×720	SD390	180	40×580×580	22×88	780×780	980×980	700	12-D22	D13 #150又はD16 #150	21以上	

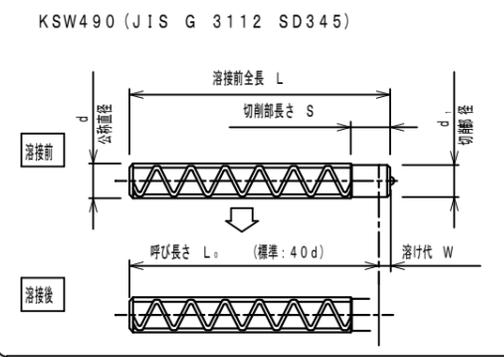
# 既製コンクリート杭の杭頭接合技術 パイルスタッド工法 設計・施工 標準図

## 1. パイルスタッド工法概要

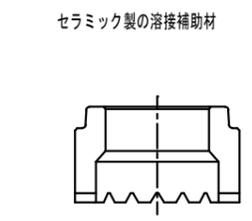
パイルスタッド工法は、溶接性に優れた異形棒鋼KSW490を杭頭端板に直接スタッド溶接することにより、抗体に悪影響を及ぼすことなく、抗体と基礎スラブとを接合する技術である。

## 2. 使用材料

### ① パイルスタッド (スタッド溶接専用異形棒鋼)



### ② フェールル



## パイルスタッドおよびフェールルの種類 (括弧内の寸法は、標準の呼び長さ40dの場合)

サイズ	呼び名	各部寸法				適用フェールル*		
		d1	L	W	S	岡部(株)	(株)大谷工業	日本スタッドウェルディング(株)
D13	D13×D(520)	13.0	L0+6(526)	2~6	18	A-13	D-13	100-101-114
D16	D16×D(640)	16.0	L0+6(646)	2~6	20	A-16	D-16	100-101-012
D19	D19×D(760)	19.1	L0+7(767)	3~7	28	A-19	D-19	100-101-152
D22	D22×D(880)	22.2	L0+7(887)	3~7	30	A-22	D-22	100-101-140
D25	D25×D(1000)	25.4	L0+9(1009)	5~9	37	A-25	D-25	100-101-045

※ スタッドメーカーとフェールルの組合せは限定しない

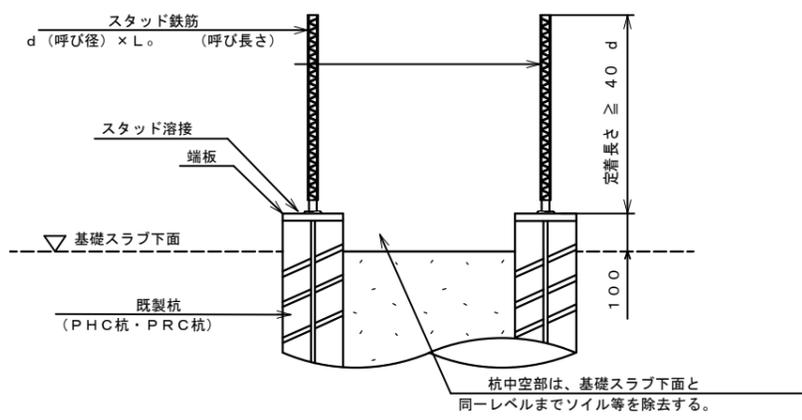
## パイルスタッド(KSW490)の化学成分および機械的性質

化学成分 (%)						機械的性質		
C	Si	Mn	P	S	C+Mn/6	降伏点 (N/mm <sup>2</sup> )	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)
0.20以下	0.15~0.35	0.30~0.90	0.035以下	0.035以下	0.35以下	345~440	490以上	2.0以上

## 3. 杭頭接合仕様

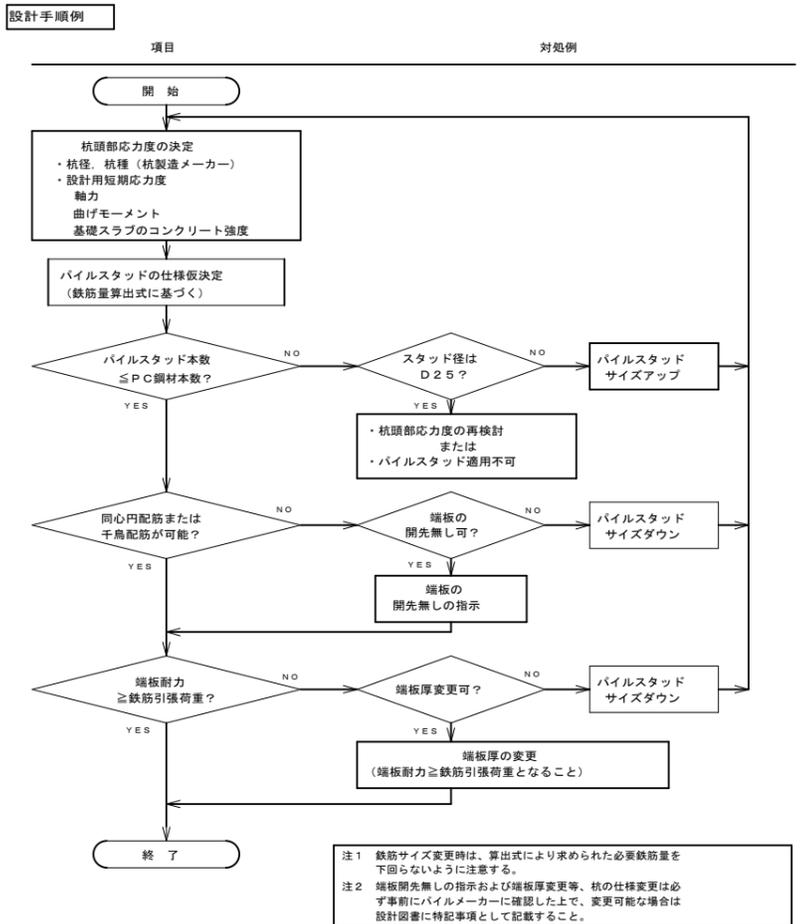
杭仕様		パイルスタッド仕様				備考
杭径	杭種	杭本数	鉄筋径	呼び長さ	本/1杭	
φ350	P1 PHC杭 C種	6	D13	520	6	

## 4. 杭頭接合構造図



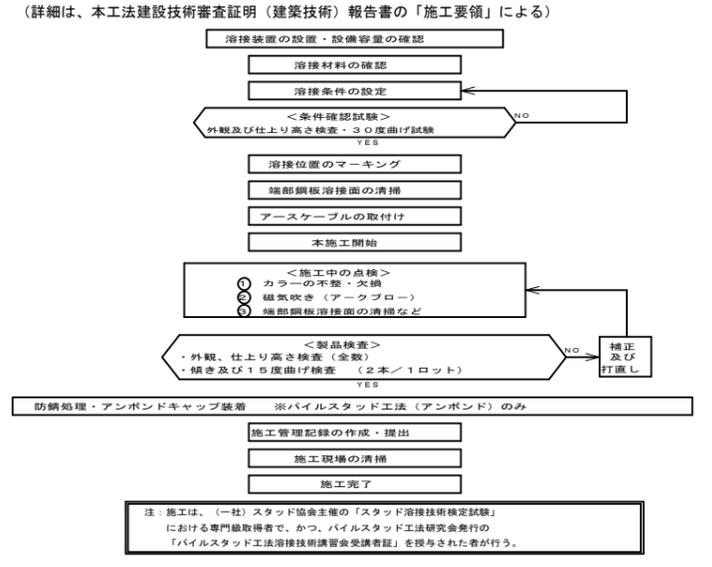
## 5. 設計に関する考え方の一例

下図設計手順例は、適用にあたっての一つの参考例であり、構造設計者の考え方に基づく適切な設計法により杭頭接合鉄筋量を算出することが望ましい。詳細は、本工法建設技術審査証明(建築技術)報告書付録による。



注1 鉄筋サイズ変更時は、算出式により求められた必要鉄筋量を下回らないように注意する。  
 注2 端板開先無しの指示および端板厚変更等、杭の仕様変更は必ず事前にパイルメーカーに確認した上で、変更可能な場合は設計図書に特記事項として記載すること。

## 6. パイルスタッド工法 標準施工フロー



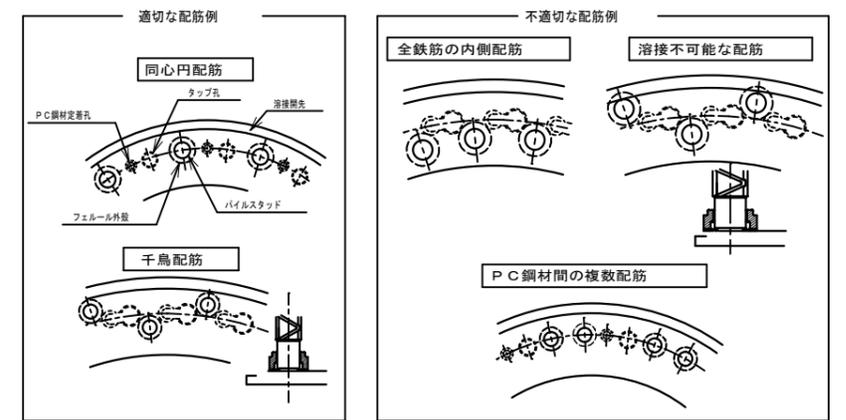
## 7. 製品検査規定

頻度	検査項目	検査方法	判定基準
全数検査	外観検査	目視	カラーが軸部全周に包圍して、アンダーカットの無いこと
	仕上り高さ	ゲージ等による	設計寸法-0mm~-+4mm
抜取検査	傾き検査	ゲージ等による	θ ≤ 5°
	曲げ検査	パイプ曲げ等による	溶接部に割れなどの欠陥が生じないこと

## 8. パイルスタッドの配筋規定

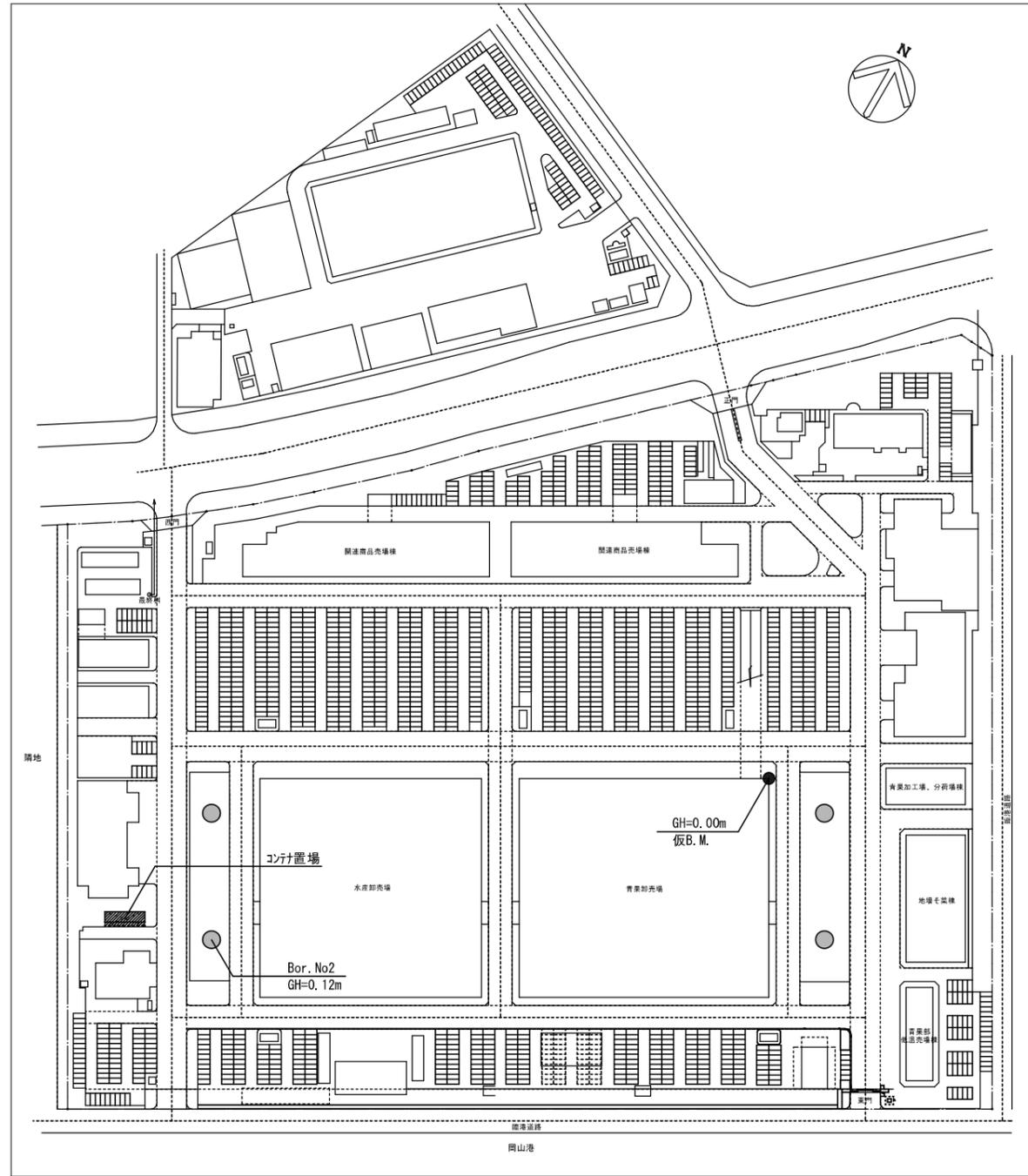
(詳細は、本工法建設技術審査証明(建築技術)報告書付録の「配置計画」による)

- フェールル外殻が端板の開先やPC鋼材孔と重ならない位置に溶接する。
- PC鋼材径と同心円上の位置への配筋を基本とする。(同心円配筋)
- 同心円配筋ができない程PC鋼材間が狭い場合、フェールルをPC鋼材孔の同心円上の外側、内側と交互に配筋する。(千鳥配筋)
- 杭当たりの配筋本数は、6本以上かつPC鋼材本数以下を原則とする。
- PC鋼材孔間に2本以上配筋しないことを原則とする。
- パイルスタッドのあきは、基礎スラブコンクリート粗骨材最大寸法の1.25倍以上かつパイルスタッド公称直径の1.5倍以上とする。また、パイルスタッド中心とPC鋼材中心は20mm程度離す。



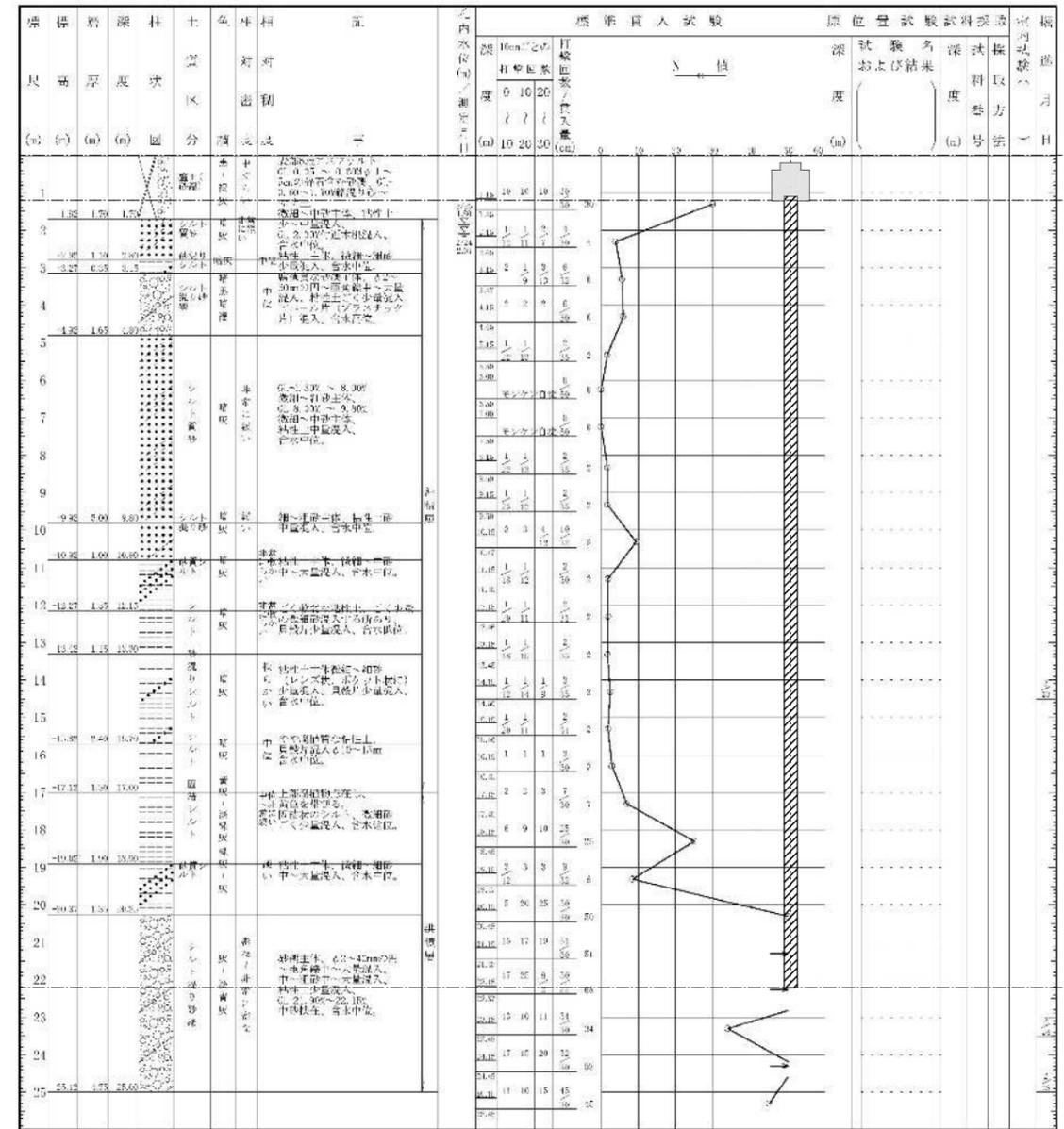
参考図	工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事	N.O.	S-07
	図面名	コンテナ置場「パイルスタッド」工法 設計・施工標準図	尺	non scale
	岡山市市場事業部		令和7年4月	
建築	課長	主幹	課長補佐	副主査
	課員	担当者		
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査
	課員	担当者		
	構造設計担当者	構造一級建築士第4007号 木村誠司		
	構造一級建築士第243674号	木村誠司		
	承認	検閲	製図	
	株式会社 U. D. 設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL: 03-5561-2200 FAX: 03-5561-2202 二級建築士事務所登録 岡第12147号 一級建築士事務所登録 第7584号 中田 智之			

# ボーリング柱状図



調査地平面図

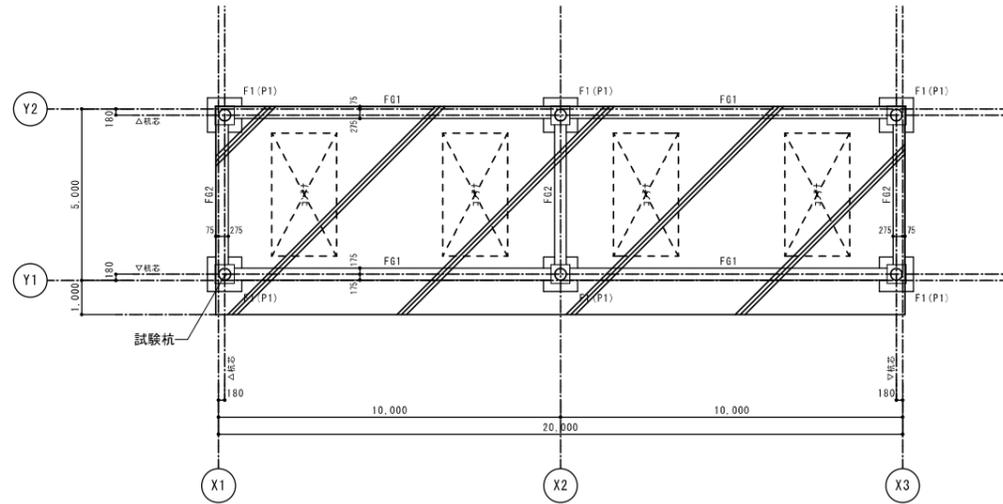
調査名		岡山市中央卸売市場地盤調査業務委託		ボーリングNo.			
事業・工事名		青果・水産立体駐車場兼荷捌き棚建設工事		シートNo.			
ボーリング名	NO. 2	調査位置	岡山市市場一丁目1番地	北緯	34° 35' 59.3"	東経	133° 56' 14.1"
発注機関	岡山市都市整備局都市整備部管轄	調査期間	平成 17年 2月 23日 ~ 17年 3月 25日	ボーリング責任者	久保田昌宏		
調査業者名	株式会社中野建設 電話 (036) 263 5861	主任技師	大野三郎	代理人	大野三郎	コア	大野三郎
孔口標高	BV 0.12m	角	180°	方位	27°	試錐機	東邦D1B
総掘進長	35.00m	度	下	向	180°	ハンマー	落下用具
				使用機種	エンジン	エンジン	ヤンマーVF012
				ポンプ			東邦BG-3C



工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事					No.	S-08		
図面名	コンテナ置場_地盤調査位置図					縮尺	non scale		
建築	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	令和7年4月		
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検印	製図

構造設計担当者  
構造一級建築士第4007号  
一級建築士第24574号 木村誠司

株式会社U・D・D設計  
株式会社ユー・ディ・ディ設計  
岡山県岡山市一丁目1番10号  
二級建築士事務所登録 岡字1214号  
一級建築士 中田 智之

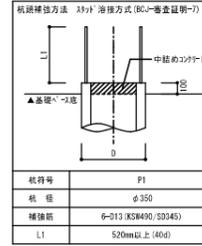


杭・基礎伏図 1:100

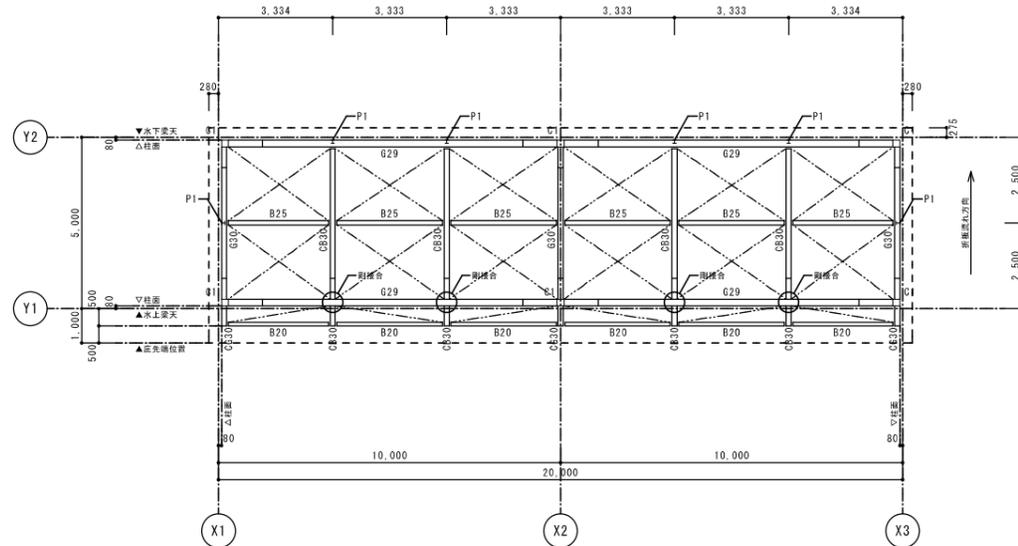
- 特記なき限り下記による
- ・1FLは S.GL±0 とする
  - ・地中梁天いゝは S.GL-300 (1FL-300) とする
  - ・基礎べゝ下端は S.GL-1,300 とする
  - ・床版いゝは S.GL±0 (既BM±0) とする
  - ・土間コンクリート範囲を示す

杭工事概要

工法：RODEX工法 / 砂質地盤 旧法第38条既部定番号 FK093  
 杭天端：S.GL-1.20m / 杭先端：S.GL-22.20m / 杭長：L=21.00m  
 上杭：PHC杭 C種 - φ350mm - L=7.00m  
 中杭：PHC杭 A種 - φ350mm - L=7.00m  
 下杭：PHC杭 A種 - φ350mm - L=7.00m  
 本数：6本 / 許容支持力：300kN(長期)・600kN(短期)  
 許容引き抜き力：40kN(長期)・80kN(短期)

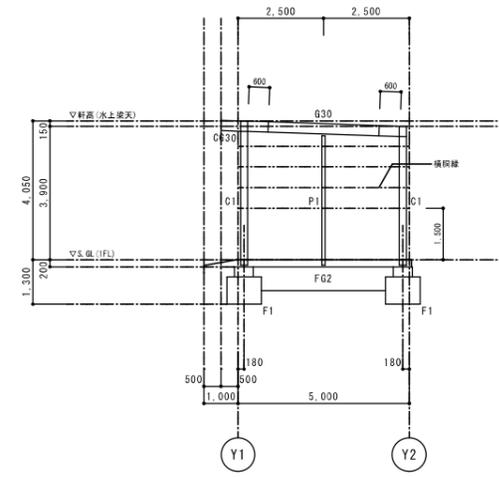


杭番号	P1
杭径	φ350
補強筋	φ-113 (KS#490 / S3345)
L1	520mm以上 (40d)

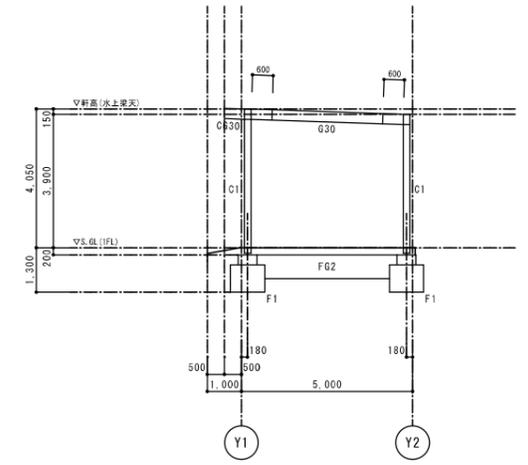


小屋梁伏図 1:100

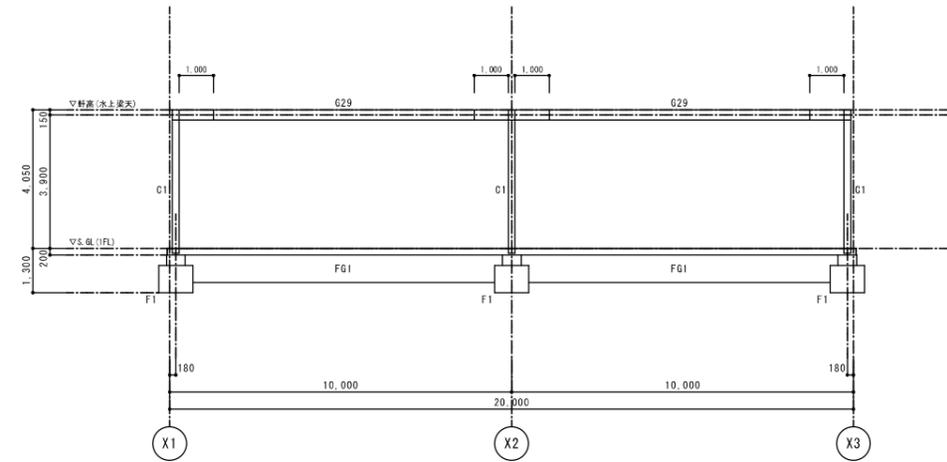
- 特記なき限り下記による
- ・大梁天端は、軸組図による
  - ・梁端手位置は、軸組図による



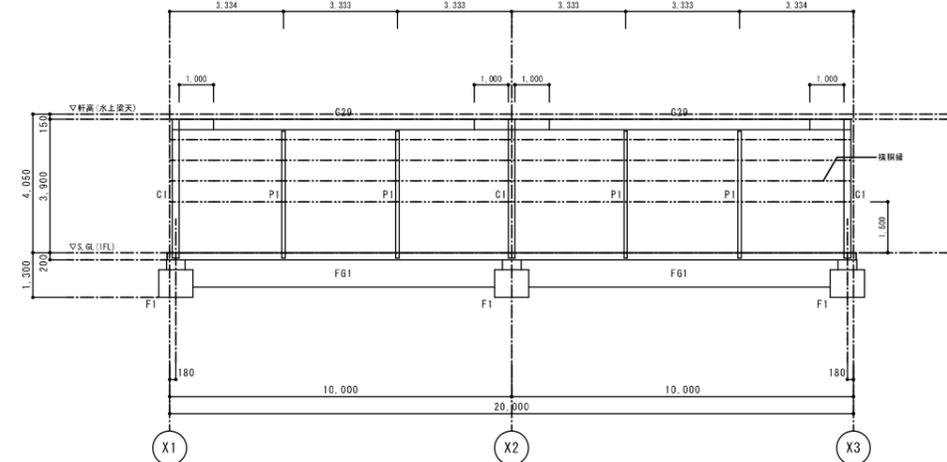
X1・X3通り軸組図 1:100



X2通り軸組図 1:100



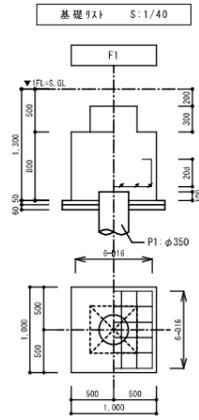
Y1通り軸組図 1:100



Y2通り軸組図 1:100

構造設計担当者  
 構造一級建築士第4097号  
 一級建築士第245674号 木村誠司

工事名	岡山市中央卸売市場コテナ置場新築工事					No.	S-09		
図面名	コテナ置場_各階伏図・軸組図					縮尺	A1:1/100	A3:1/200	
建築	岡山市市場事業部					令和7年4月	株式会社 U・D・D 設計 株式会社 コー・ティ・ティ 設計 株式会社 コー・ティ・ティ 設計 一級建築士事務所 岡野 12147号 一級建築士 中田 智之		
	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検印	製図
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者			



礎柱リスト S:1/40

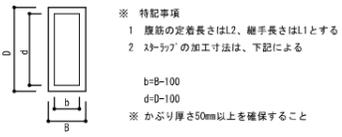
符号	C1
断面	
B X D	550X550
主筋	12-D16 (SD295)
HOOP	D13@150 (SD295)
備考	ｼﾞｽﾄｰｽﾞE II : J200-09N

地中梁リスト S:1/40 ・特記なき限り 巾止筋 D10@100

符号	F01	F02	梁上増打補強 配筋要領図	立上り 配筋要領図
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
B X D	350X800	350X700		
上筋筋	3-D22	3-D22	補強筋 2-φ16 (B≦350)	補強筋 1-D13
下筋筋	3-D22	3-D22		
スターラップ	□-D10@200	□-D10@200	ｽﾀｰﾗｯﾌﾟと同様、同ﾃﾞｲｼﾞ	土間ｽﾀｰﾗｯﾌﾟと同様、同ﾃﾞｲｼﾞ
縦筋	2-D10	2-D10		

スラブリスト

記号	スラブ厚	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
土間コンクリート	150	上筋筋	D10	φ200	D10	φ200	
			下筋筋	D10	φ200	D10	



柱リスト S:1/30 ・特記なき限り鋼材はSD295とする

階	符号	C1
1	部材	□-200X200X9
柱脚断面	断面	
	BASE PL	BPL-350X350X32 (SM490B)
	A. BOLT	4-B29 (SD490) L=660
	備考	ｼﾞｽﾄｰｽﾞE II : J200-09N

大梁リスト S:1/30 ・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

符号	G29	G30・G30・G29
部材	H-294X200X8X12	H-300X150X6.5X9
継手		
フランジ	S P L	2PL-9X200X410
	H T B	4PL-9X80X410
ウェブ	S P L	2PL-9X200X170
	H T B	6-M16
ﾋﾞﾝﾄﾞ		GPL-9 HTB, 3-M20

間柱リスト S:1/30 ・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

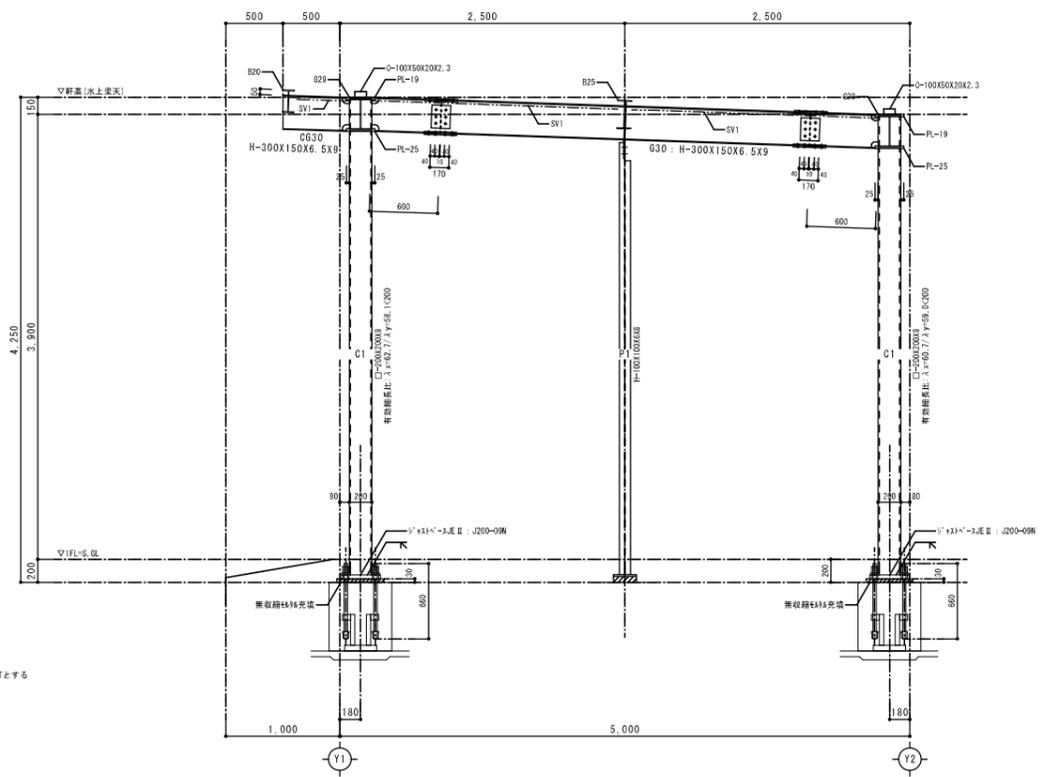
符号	P1
部材	H-100X100X6X8
梁下端取付き	
梁上端取付き	
柱脚	
BASE PL	PL-16X200X140
A. BOLT	2-M16 (L=450) ﾉｯｸﾙ付/ﾀﾞｲｽﾀｯﾄﾞ

小梁リスト S:1/30 ・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

符号	B25	B20	SV1	横間筋
断面				
部材	H-250X125X6X9	H-200X100X5.5X8	1-M16 ｼﾞﾝｸﾞﾙ付	C-100X50X20X3.2
継手	GPL-6 HTB, 3-M16	GPL-6 HTB, 2-M16	GPL-9 HTB, 1-M16	L-125X75X7 1-M16 (中ﾃﾞｲｼﾞ)
備考				φ606

横間筋リスト S:1/30 ・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

符号	G44-B20
R 階	
大梁	H-294X200X8X12
小梁	H-300X150X6.5X9
仕口	GPL-9 HTB, 3-M20



X1通り鉄骨架構詳細図 S:1/30

・材質：大梁 SS400、角形鋼管 BQR295、通しﾎﾞﾙﾄ 4775L SM490C、その他SS400とする。  
 ・F 4775Lは取りつく位置のPLの2倍ﾀﾞｲｽﾀｯﾄﾞとする。

工事名 岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事

図面名 コンテナ置場\_部材リスト・鉄骨架構詳細図

岡山市市場事業部 令和7年4月

課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者

課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者

課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者

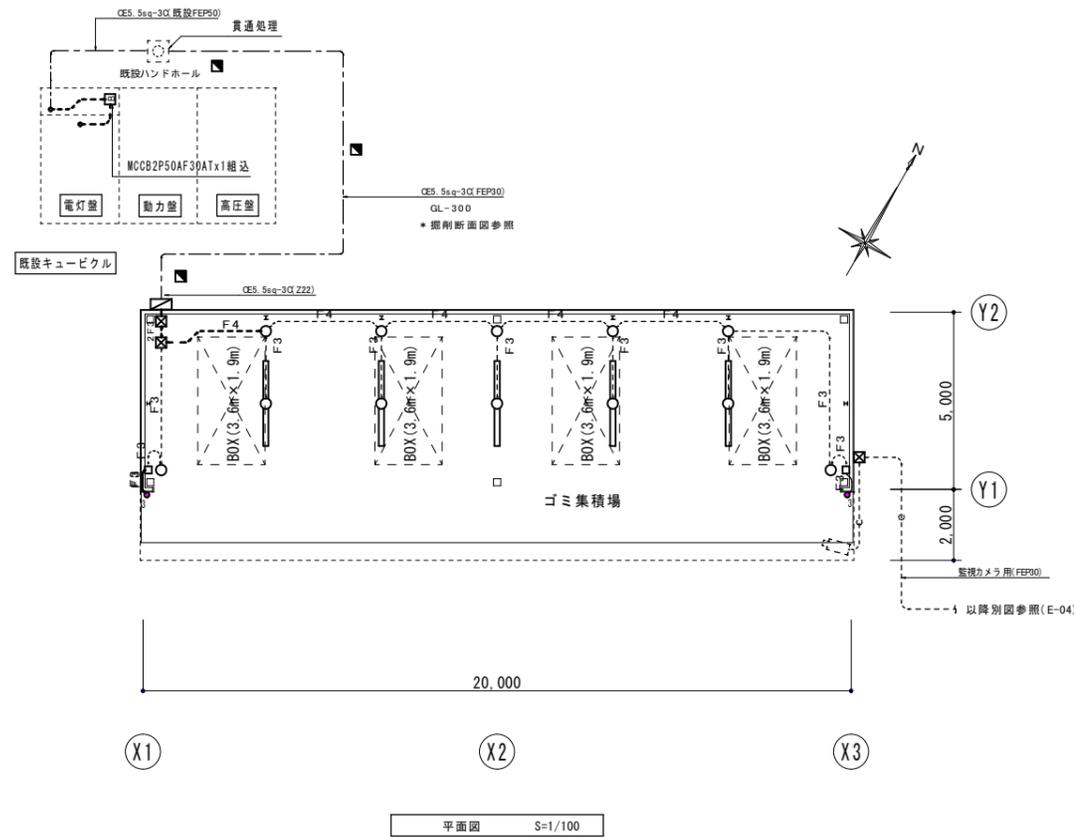
課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者

No. S-10

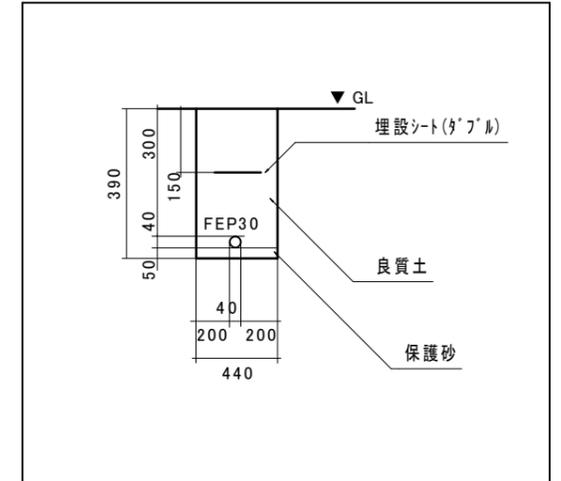
株式会社 U. D. 設計  
 株式会社 U. D. 設計  
 株式会社 U. D. 設計  
 一級建築士事務所 岡野 12147号  
 一級建築士 中田 智之

構造設計担当者  
 構造一級建築士第4007号  
 一級建築士第24574号 木村誠司

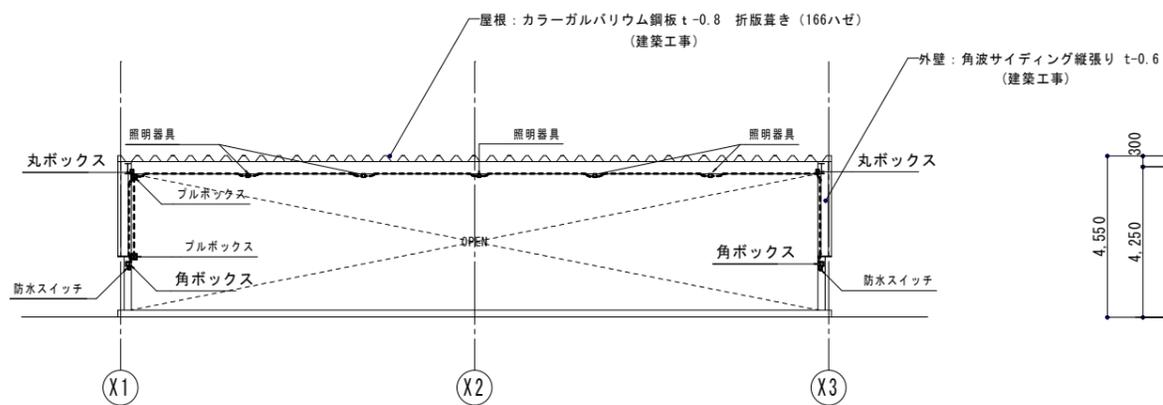
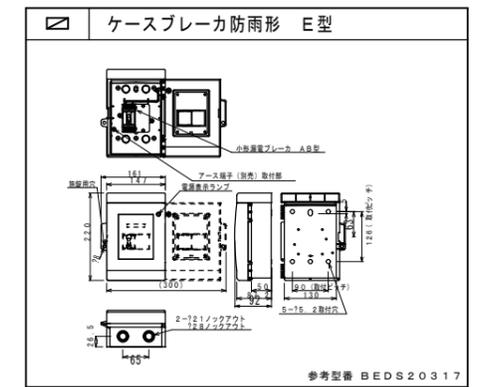




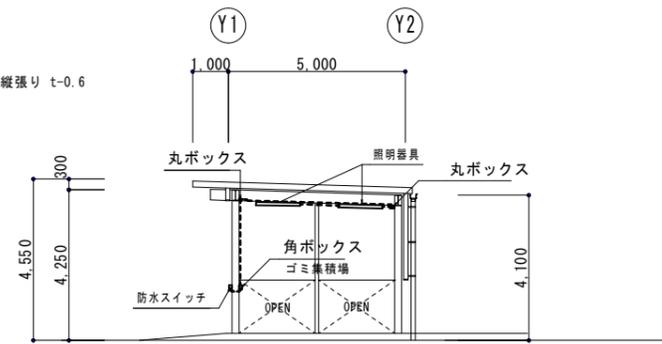
平面図 S=1/100



掘削断面図 S=NS



南側立面図 S=1/100



断面図 S=1/100

【配管配線凡例】

——	天井・壁隠蔽配管配線
---	床隠蔽配管配線
---	天井内コログン配線
---	露出配管配線

【凡例】

本図で配管、配線サイズ記入なきは、下記による。	イ/ハ/イ部	露出部/屋外	
F3	EEF1.6-3C	(PF22)	(Z22)
F4	EEF1.6-2C x 2	(PF22)	(Z22)
2F3	EEF2.0-3C	(PF22)	(Z22)
●	監視カメラ用空配管 導入径1.2mm	(PF22)	(Z22)

【機器 凡例】

記号	名称・適用
☑	手元開閉器 ELCB2P30AF20AT x 1 参考型番 BEDS20317
☑	配線用遮断器 MCB2P50AF30AT x 1 キュービクル組込
○	LED照明器具
○ <sub>3</sub>	防水スイッチ 3W x 1 (角形露出ボックス)
□	角形露出ボックス 一方出 (Z22)
○	丸型露出ボックス二方出・三方出 (Z22)
☑	ブルボックス PBSS150x150x150MP. SUS
■	地中埋設槽(コンクリート製)

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事					No.	E-02		
図面名	コンテナ置場電灯・監視カメラ設備平面図					縮尺	A1:1/100	A3:1/200	
建築	岡山市市場事業部					令和7年4月	株式会社U.D.設計		
	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	株式会社ユー・ディ・ディ設計 岡山市東区東一丁目3番14号 TEL:086-233-2266 FAX:086-233-2262 一級建築士事務所 岡野 12147号 一級建築士 中田 智之		
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検閲	製図



岡山市建築設備工事（機械）仕様書
I 工事概要
1 工事場所
2 建物概要
3 工事種目
II 工事仕様
1 共通仕様
2 特記仕様

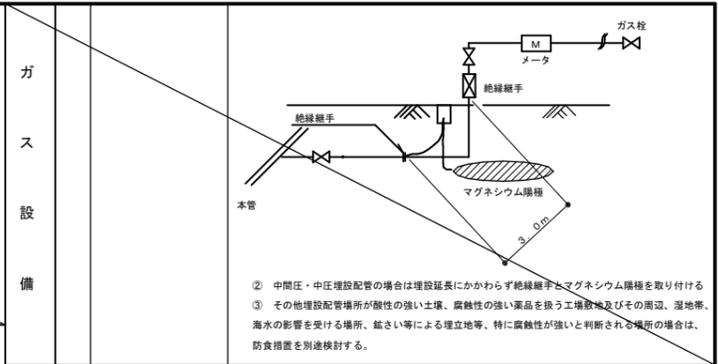
Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Contains detailed specifications for mechanical equipment, materials, and construction methods.

一般事項
16 至給電地下処理
17 防振継手
18 フレキシブルジョイント
19 はつり工事
20 補修など
21 他工事との取合い

給水設備
4 ライニング鋼管接続
5 弁類
6 定流量弁
7 水槽周り可とう継手
8 埋設深度
9 ライニング鋼管管端処理
10 散水栓ボックス
11 給水管の使用許可
12 水質基準

排水設備
1 屋内汚水管
2 屋内雑排水管
3 通気管
4 屋外排水管
5 排水トラップ
6 ます
7 グリーストラップ
8 マンホール鎖
9 共栓鎖
10 ブール排水管
11 排水処理場

給湯設備
1 管類
2 弁類
3 膨張水槽の保温
4 給湯用器具ボイラ
5 ライニング鋼管管端処理

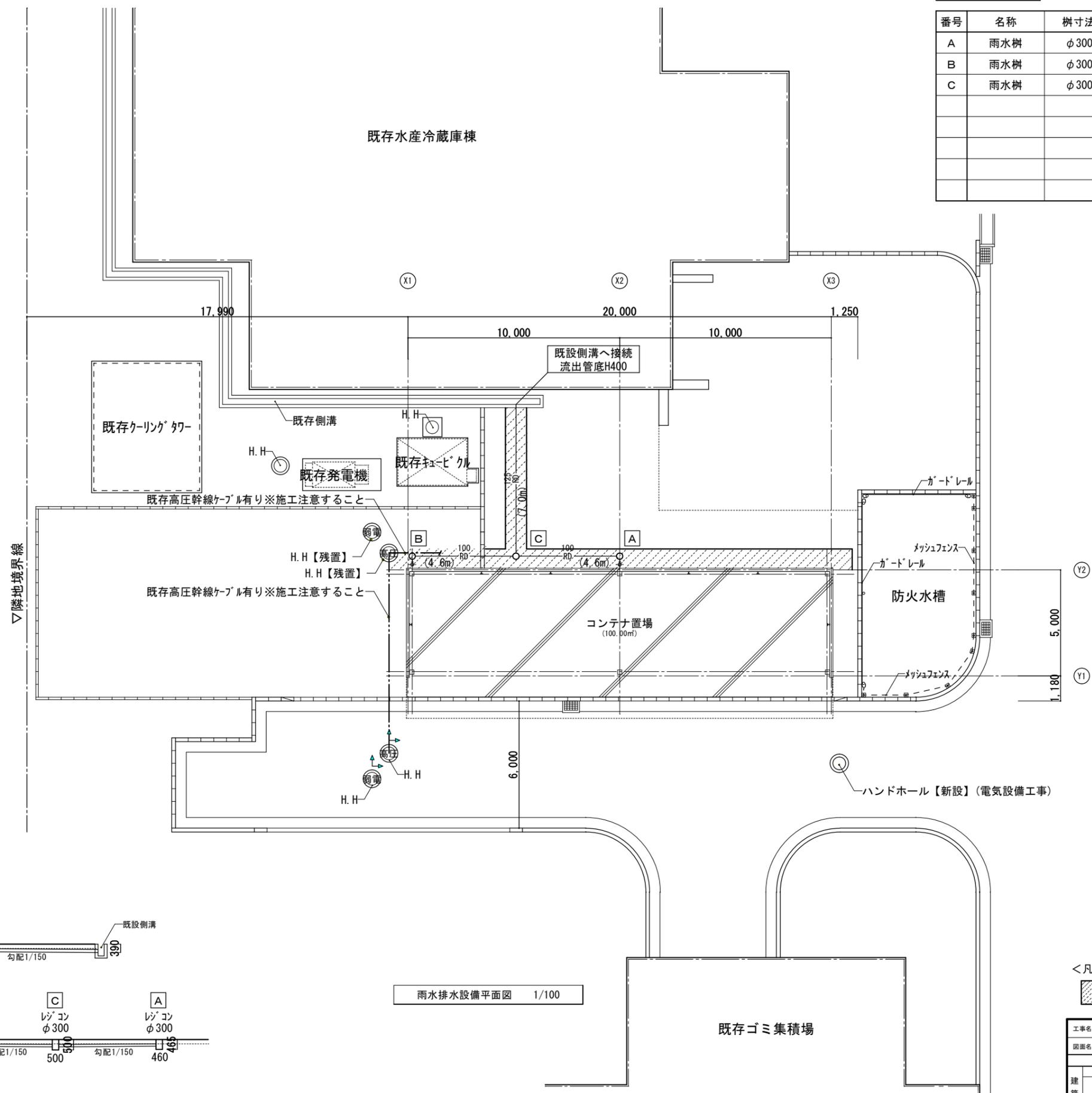


空気調和・冷暖房・換気設備
1 設計用温度湿度条件
2 冷水・温水・冷温水管
3 ドレン管
4 冷却水管
5 膨張・空気抜き・補給水管
6 油管
7 気体配管
8 弁類
9 ファンコイルユニット
10 吹出口・吸込口
11 ダクト
12 防振・防火ダンパ
13 風量測定口
14 吹出口チャンパ
15 消音内貼り
16 瞬間流量計
17 温度計
18 冷温水管の空気抜き
19 防振吊り金物及び防振支持物
20 温度調節器・温度調節器
21 エアフィルタの予備品
22 グリスフィルタの予備品
23 防振基礎
24 冷媒配管の保温カバー
25 保温
26 スリーブ
27 冷媒等の処理

Table with project details: 岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事. Includes drawing name, scale, and project manager information.

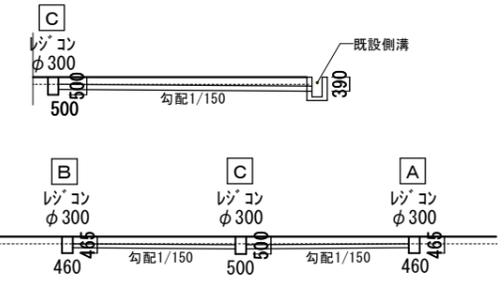
樹リスト

番号	名称	樹寸法	管底高 (GL-)	地盤天 (GL+)	樹深さ	樹蓋仕様	樹仕様
A	雨水樹	φ300	310	±0	460	シコン	ホリブドリ樹
B	雨水樹	φ300	310	±0	460	シコン	ホリブドリ樹
C	雨水樹	φ300	350	±0	500	シコン	ホリブドリ樹



<凡例>

■■■■ 既存アスファルト舗装の撤去・復旧範囲を示す。(建築工事)



雨水排水設備平面図 1/100

排水勾配断面図 1/100

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事					N o.	M-02	
図面名	コンテナ置場_雨水排水設備平面図・樹リスト			縮尺	A1:1/100 A3:1/200			
建築	岡山市市場事業部					令和7年4月		
	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	株式会社 U・D・D 設計 株式会社 ユー・ディー・ディ設計 〒760-0001 岡山県岡山市東区一ツ木3-1-10号 TEL:086-829-2281 FAX:086-829-2282 一級建築士事務所登録 岡第12147号 一級建築士 中田 智之	
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検印
								製図